

愛称: jrevive Ⅱ

2019年04月19日基準

追加型投信/国内/株式

#### 【お知らせ】

天皇退位・新天皇即位による大型連休(10連休)に伴い、次回発刊は5/7(火)(4/26(金)基準)の予定です。

#### 運用実績

基準価額

13,138円

前週比

+85円

純資産総額

42,398百万円

#### ファンド設定日:2015年7月10日

# 基準価額等の推移



- ※基準価額及び税引前分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。
- ※税引前分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものとして算出しています。

## 資**産構成**(単位: 百万円)

本ファンド			
本グアグト	金額	比率	
マザーファンド	42,326	99.8%	
現金等	72	0.2%	

マザーファンド			
(9 )/)/	金額	比率	
国内株式	68,441	98.7%	
現金等	936	1.3%	

- ※本ファンドは、中小型割安成長株・マザーファンド を通じて実質的に株式に投資しています。
- ※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、 マイナスとなる場合があります。

## 期間収益率

設定来	1週間	1 カ月	3 カ月	6 カ月	1年	3年	5年
46.1%	0.7%	3.9%	9.8%	-7.5%	-16.0%	40.0%	_

<sup>※</sup>期間収益率は税引前分配金を再投資したものとして算出した税引前分配金再投資基準価額により計算しています。 ※応答日が祝日等の場合には、前営業日からの収益率を記載しています。

## 収益分配金(税引前)推移

決算期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	設定来累計
決算日	2017/1/23	2017/7/24	2018/1/22	2018/7/23	2019/1/22	<b></b>
分配金	600円	500円	150円	140円	0円	1,390円

<sup>※</sup>収益分配金は1万口当たりの金額です。

<sup>※</sup>基準価額は信託報酬控除後の値です。

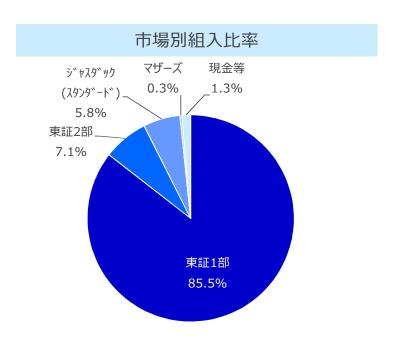
<sup>※</sup>前週比は応答日が祝日等の場合には、前営業日のものとの比較を記載しています。

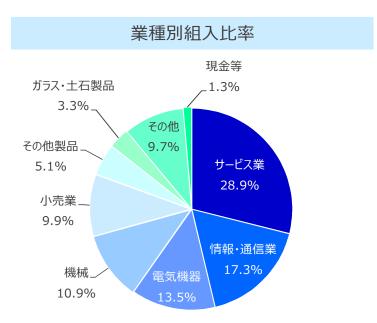
愛称: jrevive Ⅱ

2019年04月19日基準

追加型投信/国内/株式

# マザーファンドの状況





	組入上位10銘柄							
	証券コード	銘柄名	市場区分	業種	比率			
1	7839	SHOEI	東証1部	その他製品	3.6%			
2	2124	ジェイエイシーリクルートメント	東証1部	サービス業	3.6%			
3	4290	プレステージ・インターナショナル	東証1部	サービス業	3.5%			
4	9793	ダイセキ	東証1部	サービス業	3.5%			
5	4680	ラウンドワン	東証1部	サービス業	3.4%			
6	4768	大塚商会	東証1部	情報・通信業	3.3%			
7	7943	ニチハ	東証1部	ガラス・土石製品	3.3%			
8	6284	日精エー・エス・ビー機械	東証1部	幾械	3.0%			
9	4301	アミューズ	東証1部	サービス業	3.0%			
10	3191	ジョイフル本田	東証1部	小売業	2.9%			

※組入比率はいずれもマザーファンドの純資産総額比です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。 ※本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行っているため、マザーファンドの運用状況を表示しています。

愛称: irevive Ⅱ

2019年04月19日基準

追加型投信/国内/株式

# 投資助言会社からのコメント

#### 活動メモ

先日、ある上場会社の社長で、以前は別の上場会社の経営者として面談していた方と、久しぶりにお会いしました。前職を退任した あと早々に多くの会社から声がかかり、現在の会社を選択したそうです。この会社の業績は不振続きでしたが、この方が社長に就任して 以降、業績は急回復しています。火中の栗を拾うように、あえて不振企業の社長を引き受けた理由をお尋ねすると、優れた技術者が数 多く在籍していることをあげられました。前任の経営者は、優秀な技術者を収益性の低い事業に配置するなど、いわば宝の持ち腐れ状 態になっていたため、即座に収益性の低い事業からの撤退と今後伸びる事業への配置換えを行いました。また、技術者を育成する教育 手法に着目し、短期間で即戦力となる技術者を育成する体制を整え、売上高を急拡大させることに成功しました。日本でもプロ経営 者と呼ばれる方が増えてきましたが、この方はまさしくその典型例といえましょう。

経営トップが変わらずとも、側近に新たな人材を得て企業が大きく変わることも大いにあります。例えば新興企業の場合、創業社長が ゼロからイチを作る、すなわち画期的な新製品や新サービスを生むのが得意であっても、一を十にしたり、十を百にしたりする既存事業の 育成が得意でないケースもあります。3~4年前に上場したあるウェブサービスの会社も、このようなタイプの創業社長が会社を引っ張って いましたが、老舗ECサイト出身の役員を経営陣に迎えてから成長が加速しました。この役員は老舗ECサイトが一から十に成長する過 程を熟知し、そこで得られた経験を新天地で活用して、成長の加速に貢献しました。経営トップではありませんが、この役員もプロ経営 者の1人といえるでしょう。今回紹介したようなプロ経営者が活躍し、成長を加速させる企業がますます増えることが、日本経済の活性 化につながると期待しています。

#### 組入銘柄のご紹介: ~大塚商会(4768)~

今週は、企業のオフィス業務を総合的に支援している「大塚商会」をご紹介します。同社は複合機(多機能コピー機)やパソコンなど IT機器の販売から、それらを組み合わせたシステムやネットワークの構築、構築後の運用・保守、さらには文具・生活用品などの通信販 売まで、実に多種多様なサービスを文字どおり"ワンストップ"で提供しています。その取引企業数は100万社に及び、約300~400万 社といわれる全国法人企業数の実に4分の1以上を占めていることから、多くの企業の日常業務において同社が必要不可欠な存在に なっていることがうかがい知れましょう。

同社の強みは幅広い取扱商材・サービスを生かした提案営業力ですが、それを支えているのが、自社開発した顧客管理・営業支援シ ステム『SPR』です。このシステム内には顧客のプロフィールや取引履歴、サポート実績など膨大な情報がデータベース化されています。こ れらを分析することで、顧客が何を必要としているのか、あるいは営業すべきターゲット企業がどこかなど、きめ細かい市場戦略に則した提 案営業が可能となっています。また、同システムは社内管理を支援する役割もあり、日々の営業記録に対して上席者がコメントし、さら に上の管理職がそのやり取りをチェックすることが可能です。これによって知識共有やコーチングが促され、全社的な接客・営業品質の向 上に寄与しています。

2019年から2020年にかけては、働き方改革(残業時間の上限規制)、元号変更(各種帳票対応)、消費税率変更(軽減 税率対応)、『Windows7』のサポート終了、東京五輪(サイバー攻撃対策)など、オフィスを取り巻く環境に大きな変化が起こりま す。こうした"お困りごと"が増えることは、多種多様な解決策を提案できる同社には追い風といえましょう。好機をつかむべく、同社は強み を生かした積極的な事業展開を図っています。

※本ファンドのマザーファンドに助言しているエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントです。

※ご紹介する企業はファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。





愛称: jrevive Ⅱ

追加型投信/国内/株式

# ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

本ファンドは、中小型割安成長株・マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。) 受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引市場に上場する中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

#### ファンドの特色

- ●株価が下落した銘柄から財務安定性に優れ、業績も安定しており、わが国の経済社会に貢献すると考えられる企業の株式に厳選投資します。
- ●エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資に関する助言を受けて運用します。
- ●本ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行い、マザーファンドを通じて実質的に日本の株式に投資を行います。

## 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

#### 主な変動要因

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
信用リスク	投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

#### その他の留意点

- ・本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を 超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。 当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドに おいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

#### リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。





愛称: jrevive Ⅱ

追加型投信/国内/株式

## お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額となります。 換金手数料はかかりません。
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※受付時間は販売会社によって異なることもありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限(設定日:2015年7月10日)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	年2回(原則として1月と7月の各22日。休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。

## 本資料のご留意点

- ○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、 その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- ○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。
- ○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。
- ○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。
- ○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。



愛称: jrevive Ⅱ

追加型投信/国内/株式

# ファンドの費用

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料

購入申込金額に3.24%<sup>※</sup>(税抜:3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。

詳細は販売会社にお問い合わせください。

※消費税率が10%となった場合は3.3%となります。

信託財産留保額

換金申込受付日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

ファンドの日々の純資産総額に年1.8144%\*(税抜:年1.68%)を乗じて得た額とします。当該報酬は、毎計算期末及び信託終了のときファンドから支払われます。

※消費税率が10%となった場合は年1.848%となります。

信託報酬 = 運用期間中の基準価額×信託報酬率

# 運用管理費用 (信託報酬)

運用管理費用(信託報酬)		年1.68%(税抜)
内	委託会社	年0.96%(税抜)
	販売会社	年0.67%(税抜)
訳	受託会社	年0.05%(税抜)

上記各支払先への料率には、別途消費税等相当額がかかります。 委託会社の報酬より、投資顧問(助言)会社への報酬が支払われます。

# その他の費用及び手数料

ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご 負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	SBIアセットマネジメント株式会社 (信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)及び運用報告書の作成等を行います。)
Z D D D L	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 (ファンド財産の保管・管理等を行います。)
販売会社	※最終頁をご参照ください。 (受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。)



愛称: jrevive Ⅱ

追加型投信/国内/株式

## 販売会社一覧(1/2)

			加入協会				
金融商品取引	業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	$\bigcirc$	$\bigcirc$		$\circ$	
髙木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第20号	$\bigcirc$				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	$\bigcirc$	$\circ$	$\bigcirc$		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	$\bigcirc$	$\circ$	$\bigcirc$	$\circ$	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第2251号	$\bigcirc$	$\circ$	$\bigcirc$	0	
株式会社静岡銀行*	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	$\bigcirc$	0			
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第8号	0				
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第61号	0	0			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	0	0	0		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第67号	0	0	0		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	0	0			
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第579号	0	0			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第10号	0	0			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第624号	$\circ$	$\bigcirc$			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第134号	$\circ$				
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第7号	$\circ$	$\bigcirc$			
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金)第6号	0				
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第3号	0				
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	0				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	0	$\circ$		0	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第152号	0				
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	0	0			

<sup>\*</sup> 株式会社静岡銀行では、インターネットのみの取扱いです。



愛称: jrevive Ⅱ

追加型投信/国内/株式

# 販売会社一覧(2/2)

金融商品取引業者名			加入協会				
		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	0	0			
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第10号	0	0			
■販売会社では、受益							

ファンドのご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。